

私のポリカーボネート休暇



[Steven Hentges, Ph.D](#)

2017年10月25日 水曜日 in [SAFETY](#)

ほとんどの人は休暇中に仕事をしないように並々ならぬ努力をします。休暇は元気を回復してくれるものだし、また当面の間仕事から離れるにはうってつけです。

私はこの考えに全く賛成ですし、少なくとも年に一度昔からの友人夫妻と一週間のバックパック旅行をしに大自然の中に行方をくらまします。携帯電話もインターネットもコンピュータもないので、私がやりたいと思っても仕事はできませんし、誰も私を追跡できません。それを好きにならない理由がありますか？

今年の9月には、ヨセミテ国立公園の南東区画とそれに隣接するシエラ国立森林で8日間のハイキングを行いました。景色は素晴らしく、天気は良かったし、身体的にも疲れていたのに精神的には再充電しました。



しかし私は自分の仕事から完全に離れてはいませんでしたし、完全に離れたいとは思いませんでした。大自然の中で孤立し、全ての荷物を背負って運ぶ時に重要なのは「耐久性」とか「軽量」という2つの言葉です。そういうわけで私は毎年ポリカーボネート製のプラスチック類をもってハイキングに出かけます。20年以上経った今もこの準備のお陰で、私は決して失敗したことはありません。

メニューを考えることは恐らく毎回のハイキングの準備で最も時間がかかります。私たちは1週間生き延びるのに十分な食べ物が必要ですが、余計な重さの食べ物を運びたくありません。大自然には食料品店がないので、私たちは食糧を正しく把握し、道々での食べ物が失くならないようにしなければなりません。

特に私たちの食べものを喜んで食べるかもしれない野生動物から確実に食料を守る必要があります。この点に関して最大の問題点は文字通りツキノワグマです。彼らがあなたの食べ物に手を出すと、彼らを制するものは何もなく、ただあなたが空腹になるだけです。

私がクマたちを制する簡単な方法は、クマの力に対して耐久性のある食品容器の中に全ての食べ物を入れて運ぶことです。私が使っているものはポリカーボネート製で、事実上破壊は不可能です。どんなクマが来ようとも、クマたちは私の食べ物を透明な容器を通して見ることはできますが、空腹になるのはクマたちです。座るものが何もないければ容器はまた頑丈なツールとしても使えます。



食べ物が容器から出てしまったら、ポリカーボネートであろうともどうにもなりません。毎朝コーヒーを1杯、毎日夕方にホットスープを1杯、毎回のメインデッシュのすべてが私の使い古したポリカーボネート製カップで出されます。カップは20年以上の古さで、傷がたくさんあるのでほとんど透明ではありませんが良い味わいがあります。

カップで出された食べ物一ロー口が、ポリカーボネート製のスプーンとフォークの助けを借りて私の口に入ります。そして、それはポリカーボネート製のスポーツボトルの冷たくて透明な水で胃に流し込まれます。

私はほとんど毎年新しいキャンプ用品をいくつか購入して、使い古したものと交換しますが、大事に使用すれば 20 年後にも私の軽量で耐久性の高いポリカーボネート製品は私より長生きするはずと思っています。私の膝も新しい膝と取り替えられたらいいのになあ!

